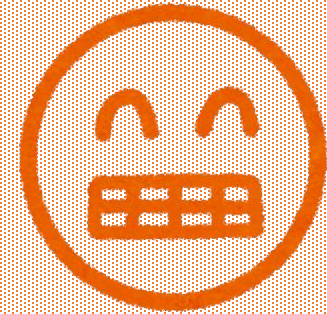


六郷助けあいプラットフォーム

話し合いの場



平成30年 8 月 7 日 (火)

本日のタイムスケジュール

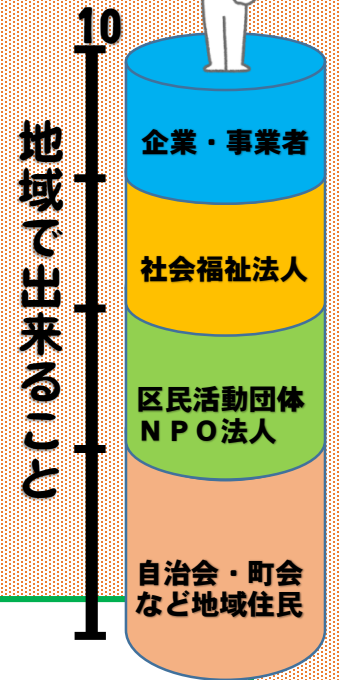
時間	内容
18：30	これまでのふりかえり
18：40	前回の話し合いのふりかえり
18：50	地域で出来ることのアイデア整理の確認
19：00	グループワーク
19：30	話し合いのまとめ
19：40	休憩
19：50	お知らせコーナー
20：00	11月以降の勉強会の内容について
20：30	終了

六郷助けあいプラットフォームの趣旨

六郷地域で活動する団体（者）どうしの顔の見える関係づくり、そして地域の福祉課題を解決するために連携が取りやすい環境（土台）をつくるのが目的です。

そのため、地域のニーズや実態把握、必要なことを議論する「話し合いの場」と活動において必要な知識を深めるための「勉強会」を実施し、団体同士の課題等の認識や目的を共有します。

また、そのことによって把握できた「地域に足りない機能」や「手伝ってほしいこと」などを明確化することによって、「必要な取り組みの創出」や「人材の確保」をめざしていきます。



◆開催頻度・・・月1回程度

◆開催日・・・毎月第1火曜日の夜6時30分から

◆会場・・・六郷地域力センター4階会議室

◆対象者

六郷で福祉に関する活動などを行っている方で、子どもの課題解決にご関心のある方

◆今後の参加者

参加者の口コミで徐々にメンバーを増やしていく。

◆地域外の参加

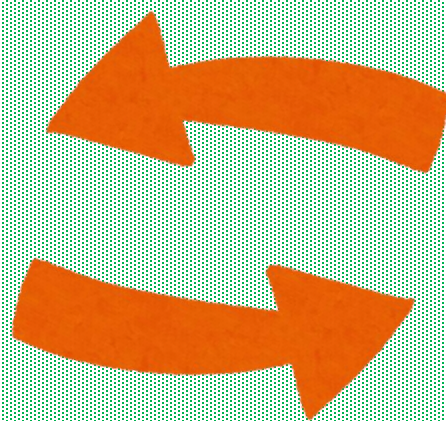
場合によってはゲスト扱いで参加や見学もありとする。

話し合いのルールについて

- ① 誰かを批判する発言や、その課題が誰のせいなのか追及しないようにしましょう。
- ② 必ず発言をしましょう。
- ③ お互いの活動の違いを理解しましょう。
- ④ この集まりで共有した課題や情報は、地域のために活用しましょう。

年間スケジュール（案）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
話し合いの場 ＜ニーズ把握＞	○	○		○		○		○		○	○
勉強会 ＜インプット・ リソース把握＞			○		○		○		○		



ホームページにてお知らせします！



コチラからホームページにアクセスしてください。

● 平成30年度

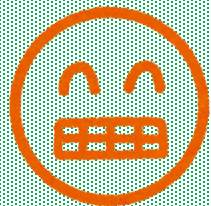
毎月第1火曜日の18時30分からおよそ2時間実施します。会場は、六郷特別出張所4階会議室です。

※下記日程と内容は、変更になる場合があります。その際は、このページでお知らせいたします。

実施日	実施内容	実施状況
5月8日(火) 18時30分～	平成29年度の報告会	参加者43名 資料(PDF)
5月8日(火) 19時15分～	話し合いの場	参加者45名 結果報告(PDF) 資料(PDF)
6月5日(火) 18時30分～	話し合いの場	
7月3日(火) 18時30分～	勉強会	
8月7日(火) 18時30分～	話し合いの場	
9月4日(火) 18時30分～	勉強会	

今後、こちらに会議の結果などを掲載していく予定です。





見えてきた課題の本質（H29の結果）

子ども

- 子どもの実際（コミュニケーション方法・遊びなど）がわからないことが多い。
- 「わからない」ということも地域の課題である。

支援者

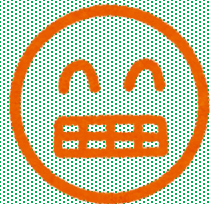
「個人情報保護」は壁ではなく、「個人情報をどう使い、管理するのか」の情報が共有されていないことが不安につながっている。ただし、本人同意を得ることは容易ではない。

親・家庭

- 必要なのに相談できない人、孤立している人が相談できる仕組みが必要
- SOSが出せる地域づくりが必要

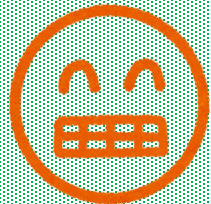
人材

- ライフスタイルが変わってきていることをとらえられていない。
- 手伝ってほしいことが明確にできていない。
- 今までのやり方を変えるのは大変である。



連携して取り組めること（H29の結果）

- 支援者側がしっかりニーズを把握する。
- 支援者と支援されるの関係ではない交流の場、機会をつくる。
- いろいろな側面の個人情報保護を勉強する。
- 助けあいのルールづくり
- 出来ないことを明確にした求人募集
- 知らない団体とももっと関わりを持つ



地域に足りない機能【募集掲示版】 (H29の結果)

- 子ども食堂や学習教室
⇒目的をきちんともったもの
- インターネットに関わるしくみ
- 親・子と地域が知り合える環境
- SNSやネットによる情報発信機能

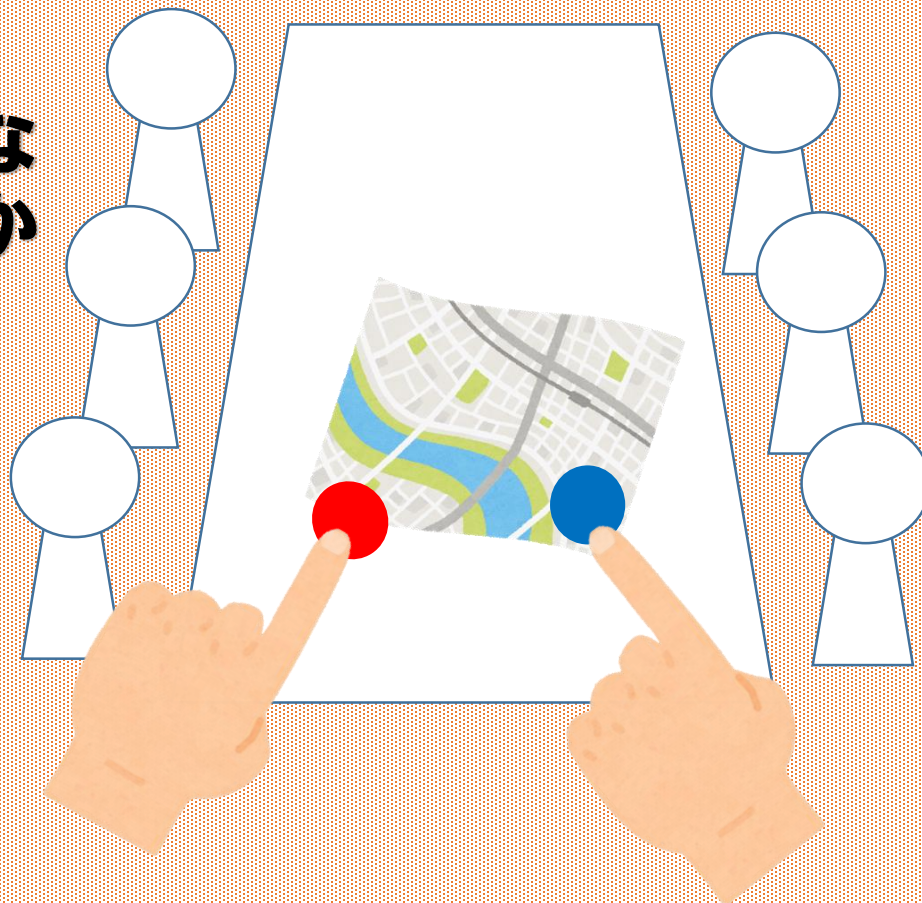
【これまでのふりかえり】

話し合いの場（ニーズ把握）

子どもの実態を地図を使って話し合う

子どもが地域でどんな
様子で、どこにいるか

この公園に、よく
小学生が4時ごろ
集まっているよ。



子どもを見てくれる
助けてくれる人・場所
がどこにあるか

この施設では
〇〇を対象に
〇〇な活動をして
いるよ

足りない機能、
手伝ってほしいこと
などを明確化して、
地域に発信！

協力
します

大田区社会福祉協議会

おおたボランティアセンター

子どもの居場所や学習教室、子ども食堂などの
立ち上げや運営などの支援をします。

足りない機能などに対して
プロジェクトチームが
立ち上がることは大歓迎です。



前回（6/5分）の話し合い

課題の本質と地図を見比べよう！

私たち地域が出来ることってなんだろうか？

- ◎ **子どもの実態は見えているだろうか？**
- ◎ **もしも公園等で、気になる子がいたらどう見守る？**
- ◎ **子育てに不安を抱えている親、孤立している親を地域でどのように早期発見できるか？**
- ◎ **S O S が出せる地域ってどんな体制だろうか？**

六郷助けあいプラットフォームが必要な背景



時代の変化



人々の生活が変化

ライフスタイルの変化・多様化
インターネットの普及、店舗の
充実、家庭用電化製品の進化、
核家族化、単身世帯の増加

社会環境の変化

少子高齢、日本の人口減少



生活が便利になる一方で…

昔は当たり前だった助けあいが希薄化
し、サービスは、行政や企業から受け
るものという感覚が。。。
地域や人に対する関心が薄れている。

福祉課題の変化

子どもの貧困、ダブルケア、8050問題



丸ごと受け止める必要性

我が事が必要



これまでの話し合い
でもココが肝！

福祉の課題は複雑化し、一つの分野・団体だけでは解決は困難になってきた。
人口が減る中、福祉の人材不足も。サービスが今後担えるかが問題に。。

このため、我が事・丸ごと「地域共生社会」づくりが必要

地域だからこそ出来ること（前回のアイデアを整理）

◎地域ニーズを把握するための見守り活動（声掛け活動）

- ・スタッフ（大人）が**楽しそう**にしていることが良い。そのことによって、みんなが楽しい。
（例：東六郷二丁目町会のハートボックス）
- ・子どもへの声掛けは、小さい頃から声掛けすることで、知っている関係になるので大きくなってでも注意しやすい。
- ・声掛けは、**まちの雰囲気**が大事。そのことによって、周りの見方によって印象が変わる。

アイデア 地域住民だからできる無理のない取り組み例

普段の行動 + **見守り**
(犬の散歩)
(ジョギング)

住民がSOSを出しやすい、発見しやすい“しくみ”

◎新しい住民、これから地域活動を始めようとする人へのアプローチ

- ・何かやりたいと思っている人はいるが、町会活動には入りづらいと思っている方もいる。
- ・地域の活動へのはじめの一歩がわからない、難しい。
- ・**入りやすい環境をつくる**必要がある。出入り自由な環境も必要？

地域活動に参加しやすい“しくみ”

◎情報発信（地域住民の集まる場、公的施設ではない場所への発信）

- ・子どものプールの送迎、幼稚園の送迎のバス停は、**母親たちの集まりの場**
- ・オリンピックのイートインコーナー

まちに関心をもってもらおう“しくみ”

本日の話し合いテーマ



六郷の“まちの雰囲気”とは？

子どもたちを支える、住民活動や活動団体が連携して支え合う・助けあいの“しくみ”を考えよう！

- ◎住民がSOSを出しやすい、発見しやすい“しくみ”とは？
- ◎地域活動に参加しやすい“しくみ”とは？
- ◎まちに関心をもってもらう“しくみ”とは？

次回は、9月4日（火）18時30分から
「勉強会：他の団体の活動を知ろう！
気まぐれ八百屋だんだん：近藤博子 氏

◎テーマ：「子どもの居場所を地域住民が
つくることでどのような効果があるのか」
を行う予定です。

どうぞよろしくお願いいたします！